

SOAS Language Centre Intermediate Japanese Class Projects 2010-2011

富士登山 by Laura Graham

「富士に一度も登らぬ馬鹿、二度登る馬鹿」 'A wise man climbs Mt. Fuji once. A fool climbs it twice' という日本のことわざを聞いたことがありますか。実は、私はその a fool です。

2006年と2007年の九月に富士山を登りました。ふつう山に登ることがきれいな私が、どうして二回登ったのでしょうか...?

最初に、富士山に登ることについて話します。登ることできる間は七月から九月の始めまでだけです。このとき、登ることできる理由は雪がないことです。しかし昼間は暑いですから、多くの人は夜に登ります。

次に、私のけいけんについて話します。2006年に友達の Sonyaさんと一緒に夜8時に登り始めました。そのとき大きい月がみえました。

チャレンジは次の日の五時までに富士山の峰につくことでした。その理由はその時が日の出の時でしたから。私たちは、夜の間、ゆっくり登りました。

午前4時50分に、峰に近づきましたが、Sonyaさんは疲れたので、座ってしまいました。私は、大きい声で、がんばって！と言いましたが、Sonyaさんは、体を動かすことができません。



だから、bowling skittle (ボーリングのピン) の形のぼうしをかぶっている人 (see the picture below) といっしょに登っていた人と一緒に日の出を見ました。眺めはきれいでしたが、ちょっとざんねんでした。

一年間後、ほかの友達と一緒に富士山を登りました。その時も大変でした。でも今度は、5時に、峰につきました。山登りも安全でした。今のところ、もう一回富士山を登る予定はありません。